

【Port Moresby National High School】

Port Moresby National High School (POMNATHS)が公式に優秀学校としてパプア・ニューギニアに開校したのは1995年6月1日です。本校はパプア・ニューギニアの首都であるポートモレスビーにあり、6つある国立高校の一つです。男女共学校でもあります。

90年代に開校してから、本校はパプア・ニューギニア内で評判の高い高校の一つとして歩んできました。良質な教育を受けられる場であること、そして必要とされている専門職の知識を身につけた生徒を世に送り出すことで、本校は、パプア・ニューギニアの発展に大いに貢献してきました。

広大なキャンパスの中には協議会センターも併設されています。必修科目に加え、本校では毎週水曜日に行われる課外授業である宗教教育を通して生徒たちにキリスト教の教を伝えています。心身ともに健やかであるために、木曜日にはスポーツ課外活動を設けています。多種多様な文化を持つ生徒が集まるるつぼである本校は、年に一度「ハヘナモ」と呼ばれる文化祭を行っています。このお祭りでは、22の異なる地域出身の生徒たちがそれぞれの文化を歌や踊りを通して紹介します。

日本政府のパプア・ニューギニア助成事業によって本校の設立は助けられました。自国の若者を教育してだけでなく、本校は日本と自国の結束のシンボルとしての役割も務めています。政府を通じての日本からの継続した支援にとっても感謝しています。2011年に起き、壮絶な被害をもたらした東日本大震災の際には、本校の生徒とその家族で集めた支援金と励ましの言葉を災害で被害に遭われた日本の学校に送りました。

本校は創立21年を迎えます。そして、本校と日本政府との関係は年々強くなってきています。今年だけでも、日本で行われた科学フェアと11月の「世界津波の日」高校生サミットin黒潮に参加する機会をいただいています。本校のモットーである「神の力を借りて、偉大な功績を残す」を念頭に国内で評判の高い名門校として、これからも歩んでいきたいと思えます。